



社会科(地理的分野)学習指導案

授業の見どころ

県中社研では、郷土の教材化を研究しています。郷土を理解し愛情を深め、生活の向上を図る主体的な国民を育成することを目的にしています。

ここでは、城南町の「よかところ」を生徒たちにより深く調べさせることで、町のもつ地域的特色に気づかせ目的にせまろうと考えています。総合学習の「郷土学習」をもとに、町の特徴を調べる新たなテーマを設けて、調査活動をし、発表して、最後には「よかところ紹介団扇」を作らせるという楽しい学習の展開です。生徒たちの活発な活動に注目したいと思います。

日 時	平成16年11月22日(月)
場 所	城南町立下益城城南中学校 1年2組教室
年 組	1年2組36人(男子19人 女子17人)
指導者	城南町立下益城城南中学校 教諭 東 剛智

1 題材名 「身近な地域の調査」

2 題材について

(1)「地域の規模に応じた調査」では、地域の調査活動を通じて、地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択・活用して、地理的事象を多面的・多角的に考察し、適切に表現する能力や態度を育てることをめざしている。

ここでは、城南町の地域的特色を追究し、とらえ、調べ方や学び方を身につけつつ、郷土に対する理解と関心を高め愛情を深めることを目標としている。フィールドワークでは、地域住民に直接聞き取りを行い、生活者の願いや思いに共感し、共に考えることが、この学習をさらに意義あるものにすると思われる。

また、調べ学習の手順や資料収集の方法及び調査結果の分析等を通して、地理的な見方や考え方を身につけ、今後学習する「日本の諸地域」の学習につなげていきたい。

(2) 小学校からの系統性は、次のようになっている。

小学校第3・4学年：「私たちのくらしと町のうつりかわり」 「ゴミ処理・水道・県」 「防犯・消防活動」
第 5 学年：「私たちの身のまわりの公害を調べる」 「水俣の海はどんな所」
第 6 学年：「私たちの町の防災対策」 「身近な遺跡をたずねる」

本校の総合的な学習の時間では、次の学習を行っている。

第1学年：城南町の産業・自然・人・歴史・文化などの調査学習。
第2学年：職場体験を通して、城南町で働く人々に学ぶ学習。
第3学年：自ら考え活動する「ボランティア活動」を通しての学習。

(3) 本学級には 36 名が在籍しており、授業を意欲的に取り組むことができる。小学校の授業で歴史に興味を持ち始めたという生徒もあり、社会科に関心を持っている生徒は多い。人前で質問や発表を積極的にする生徒も数名おり、班での話し合いや作業学習も協力して行うことができる学級集団である。

総合学習では郷土調べを行っており、本学級は 6 班に分かれて調査活動を実施した。

(テーマ)

「用水路探索・生物観察調査(自然環境)」	各班が現地で聞き取り調査をし、その成果を応用紙にまとめている。指導にあたっては、総合学習で行った調査活動の経験や結果を生かして、地理的な考察をして学習を深めたい。
「隈 ^{くまのしよ} 庄城について(歴史)」	
「棒踊り ^{ぼうおど} について(伝統芸能)」	
「隈庄幼稚園について(教育)」	
「和光 ^{わこう} 保育園について(教育)」	
「梨農業について(農業)」	

(4) 本単元での調べ学習を通して、生徒が調べ学習を楽しんでいると感じたり、調査や見学することのやりがい・新しい知識・情報を獲得したときの喜びを大切にしたい。そのためには、生徒たちの調べたいという意欲を大切にしながら、調べる方法やまとめ方などを、適宜指導助言していくことが大切だと考えている。

城南町は熊本市から南に約 15km に位置しており、周辺地域の町村と合併をしながら現在に至っている。人口は緩やかながら増加しており、町外からの流入はバイパス(平成 3 年に開通した国道 266 号線)沿いの新興住宅地の造成とも関係しており、周辺地域(嘉島・宇土・松橋)へのアクセスも容易になった。農業面では米・麦の穀類をはじめ、メロン・いちご・ブドウなどの施設園芸農業もさかんで、商工業面では、創業百年をこえる酒造業をはじめ食品製造業や自動車部品メーカーなど様々な企業がある。また、国指定史跡の塚原古墳群^{つかはら}があり、古代の貝塚などからは貴重な土器も数多く出土する、文化財や史跡が豊富な町でもある。

生徒たちには、城南町がどのような特色をもつ町なのか、どのような変遷をたどって現在に至ったのか、地域的特色を多面的にアプローチした。また、同時に地理的なまとめ方や地形図の読み取りなどの基礎的・基本的な力の定着も図りたい。

聞き取り調査を進めるにあたって、コミュニケーションの仕方等を総合的な学習の時間でも学んでいるので、連携を図りながら進めたい。町の将来への展望を持たせ、その発展に努力しようとする態度を育てるとともに「生きて働く力」へとつなげていきたい。

3 題材の目標

(1) 調査活動の課題を設定し、地域の特色や変化をとらえる学習に意欲的に取り組むことができる。	社会的事象への関心・意欲・態度
(2) 調査活動の課題をできるだけ多面的・多角的に追究し、考察することができる。	社会的な思考・判断
(3) 地図や統計資料などを収集・処理し、有効に活用してまとめをすることができる。	資料活用の技能・表現
(4) 課題を設定し、追究し、まとめる学習を通して地域的特色と結びつけて理解することができる。	社会的事象についての知識・理解

4 題材の指導計画（9時間扱い）

次	題 材	主 な 学 習 内 容	配 当
1	身近な地域を見直そう	城南町の地図を等高線・縮尺・土地利用・地形などに着目して読みとり、様々な事象に気づく。	1時間
	調べ学習のテーマを決めて、見通しを立てよう。	城南町の特徴（よかところ）を調べよう。 （総合学習で行った郷土学習の班で、さらに学習を深めるように調べ学習のテーマを設定する。）	1(本時)
		調査方法を考える。	1
2	いろいろな方法で調査活動をしよう。	読図・聞き取り・新旧比較・文献調査等で調査活動を行う。 フィールドワークで、住民に直接お話をうかがい、生活者の願いや思いを知る。 分布図や統計データを作成する。	3 (総合学習で実施)
3	調査結果をまとめ、発表しよう。	調査した内容を発表する。 これまで学習してきたことをもとに、学習内容を整理する。 自分たちの考えや調査で気づいたこと、思いを発信する。	3

5 題材における基礎・基本

	基 礎	基 本
「社会的資質」 (社会的事象への 関心・意欲・態度)	自分たちが住む地域について関心を持ち、積極的に調べることができる。	地理的事象を見出して、課題を設定し、地域の特徴や変化をとらえる学習に意欲的に取り組むことができる。
「社会的な思考・判断」	調べ学習のテーマについて、色々な調査の方法を活用して調べ、自分なりに考えることができる。	身近な地域の特徴を、自然条件や社会条件等、多面的・多角的に追究、考察することができる。
「社会的な探求の仕方」 (資料活用の技能・ 表現)	フィールドワークにおいて、聞き取り調査などの調べ方や学び方を身につけ、まとめることができる。	身近な地域を調べた内容や地形図・統計資料など活用し、自分たちの考えを持ち、まとめることができる。
「社会的知識」 (社会的事象についての 知識・理解)	地図記号や等高線、縮尺などの地形図を読み取るための知識を身につける。	地形図や資料から自然条件や社会的条件を読み取り、地域的な特色を考えながら、追究することができる。

6 本時の学習

(1) 目標

地図や資料などをもとに、城南町の地域的特色をとらえることができる。

城南町についての興味や関心を高め、調べ学習のテーマを設定することができる。

(2) 展開

学習活動	時間	教師の支援	教材・教具等
1 地域的特色をとらえる。 (1)「城南音頭」を聴き、歌詞から町の特徴を確認する。 (2)城南町に関するクイズを出題する。	10分 10分	歌詞の中の名物（「舞の原」「米どころ」「塚の群」）について知っていることを発表させる。 「城南音頭」の歌詞から、城南町の自然・産業・歴史面の特徴をつかませる。 クイズで、町の意外な一面にも気付かせ、調べ学習のテーマ設定の参考となるような視点を与える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">クイズの例・城南町特産の食べ物で、ロンドンや香港でも買える物は何か？ ・隈庄城に泊まった歴史上の有名人は誰か？ ・塚原古墳はある物の上に広がっている、日本一珍しい古墳です。ある物とは何か？</div>	夏祭りの団扇（歌詞つき） 音頭のCD 城南町の地図 写真資料 輸出用酒瓶
城南町の特徴（よかところ）を詳しく調べ、「よかところ紹介団扇」を作ろう			
2 町の特徴（よかところ）の調べ学習のテーマを考える。	15分	町の特徴を調べ、「よかところ紹介団扇」を作ること伝える。 教室にある総合学習の掲示物を見て回り、調べ学習のテーマのヒントをさがさせる。 参考のため、調査の例を挙げる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">例：城南町はアールスメロンの先駆的栽培地として有名だが、なぜアールスメロン栽培を始めたのか。また、その出荷先の95%が東京なのはなぜだろう？</div>	総合学習の掲示物 団扇
3 テーマを整理する。	10分	○自分の調べ学習のテーマを発表し、また友達のテーマを参考にするように指示する。 各自で考えたテーマを黒板上で分類、整理する。	ワークシート 短冊
4 本時のまとめと、次時の学習内容について知る。	5分	○次の時間には、どのような調査方法があるか考えよう。 調べ活動の方向性を確認する。	